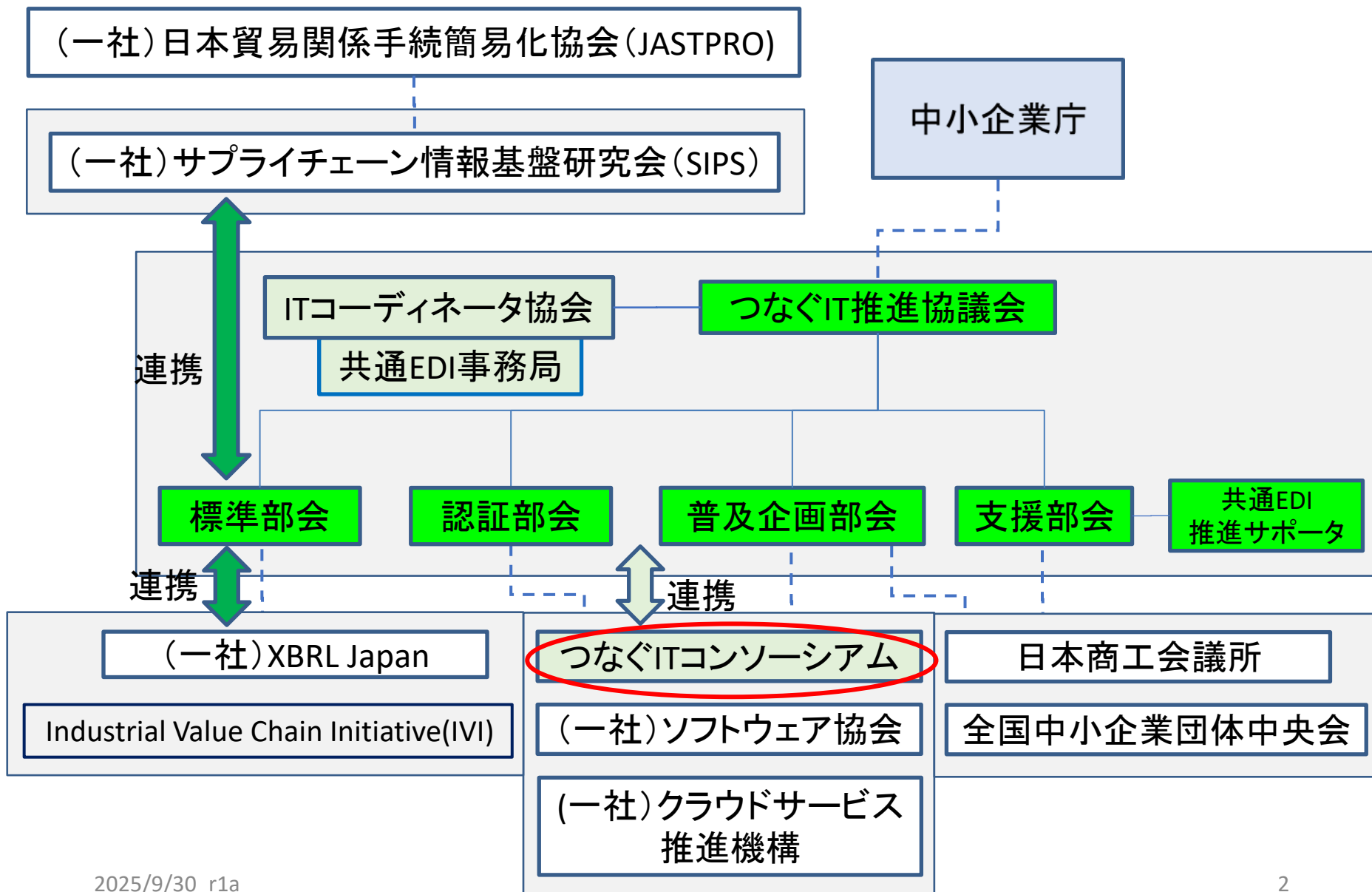


# 中小企業共通**EDI** 今後の展開

特定非営利活動法人  
ITコーディネータ協会  
つなぐIT推進協議会  
共通**EDI**標準部会

# 中小企業共通EDIの管理体制と外部連携



# 中小企業共通**EDI**の当面の課題

## 1. 中小企業「請求レス方式」ユーザー開拓の課題

- 大手・中堅発注企業へのアプローチ
- 税理士／金融機関へのアプローチ
- 業界団体へのアプローチ

## 2. 標準**ver.4.3**のテスト環境提供

- 中小企業「請求レス方式」テスト環境
- 取引・会計連携「構造化**CSV**」テスト環境

## 3. 国の動きへの対応

- デジタル庁「**GビズID**」の民間実証の公募
- 経済産業省「**ウラノスPJ**」の事例公募
  - ウラノス**2026**年事業公募への準備

## 4. 課題検討のための体制

- ウラノス検討**WG**の設置と参加メンバー募集

# 中小企業「請求レス方式」 ユーザー開拓の課題

# 中小企業「請求レス方式」のメリット

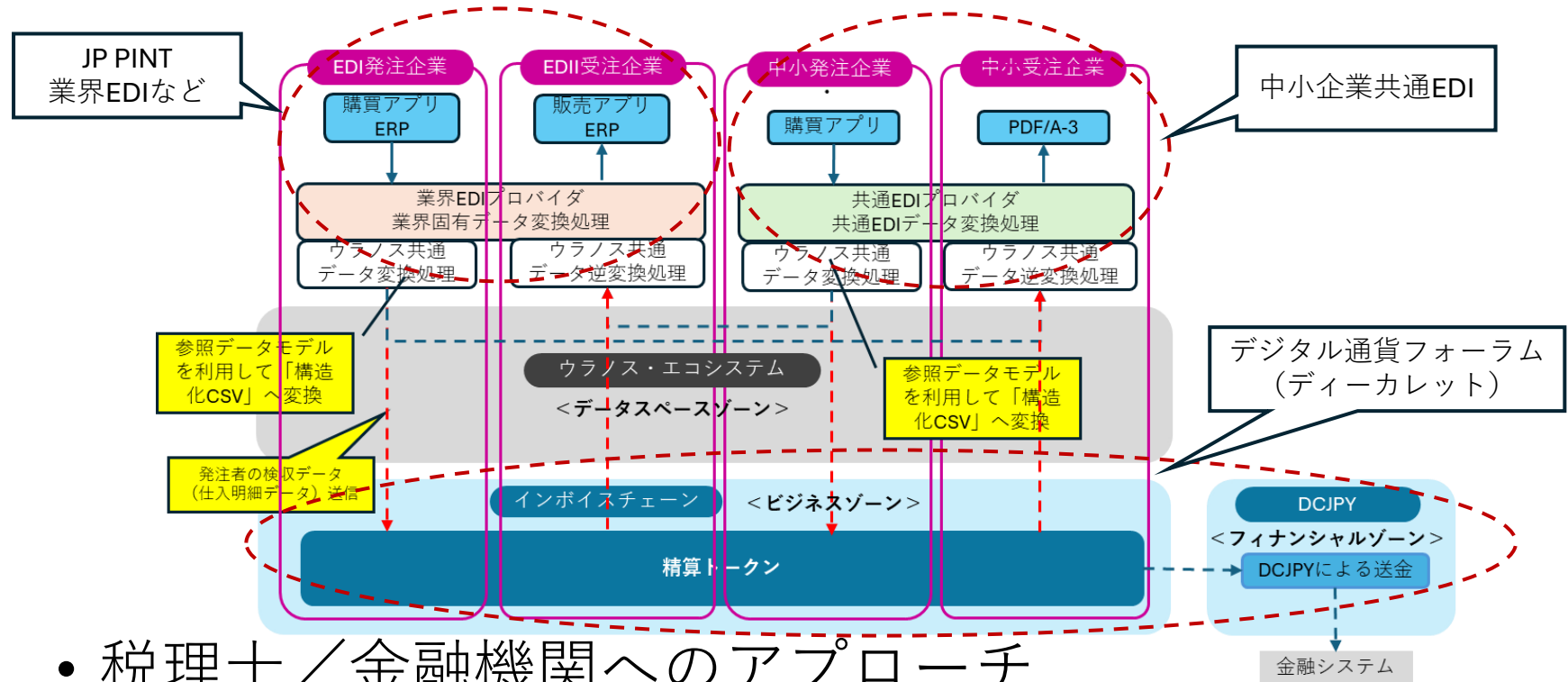
- 「請求レス方式」は大企業間ではすでに普及している。  
中小企業にもメリットがある
- 発注者のメリット
  - ① 自社の帳簿に記載の買掛検収データを利用して、発注者主導の仕入明細書交付に一括転換できる  
⇒その結果、書面請求書受領後の買掛消込管理がまとめて不要になる
  - ② 受領した適格請求書に記載の消費税額の積上げ計算の代わりに、帳簿記載の買掛検収データから仕入税額控除申請の消費税額を算出できる
- 受注者のメリット
  - ① 入金消込が簡単になる⇒事前確認済のため
  - ② 資金繰りが見えやすくなる  
⇒仕入明細データは金融機関にとって先行モニタリングデータ。融資判断が容易になる。
  - ③ 受注者の「確認不可」エビデンスが残る  
⇒下請け保護
  - ④ 仕入明細デジタルデータ受領で、デジタル利用のメリットを実感  
⇒社内IT化とDX取組のキッカケとなる

# 中小企業「請求レス方式」普及の課題と対策

課題	要因・原因	対策
中小取引先が受け入れてくれない	デジタル化に金をかけるメリットがない	発注者の人手解消とバランスする料金を考慮した <b>受注者無償</b> のEDI利用料金体系
	動かしてみないと利用できるか判断できない	<b>テスト環境を提供</b> し、ユーザー意見をサービスに反映
	デジタルデータを受取れない EDIは電帳法対応の保存が困難	<b>PDF/A-3</b> （デジタルデータ添付）交付で解消を目指す
インボイス制度への対応	仕入税額の積上げ計算ができない	発注者の <b>会計帳簿買掛データで仕入税額を計算</b> ⇒国税庁に確認済
	受注者交付の適格請求書と重複する	受注者交付の適格請求書は参考文書とする取り決めをしておく ⇒国税庁に確認済
改正下請法への対応	電磁的方法による交付の受注者承認による制約	改正下請法により電磁的方法の交付が可能となる
	仕入明細書支払に対する確認不可回答への対応	発注品受領後 <b>60日</b> 以内に修正して支払えば問題ない ⇒公正取引委員会へ確認済

# 中小企業「請求レス方式」のユーザー開拓

- 大手・中堅発注企業へのアプローチ
  - デジタル通貨フォーラムへのアプローチ

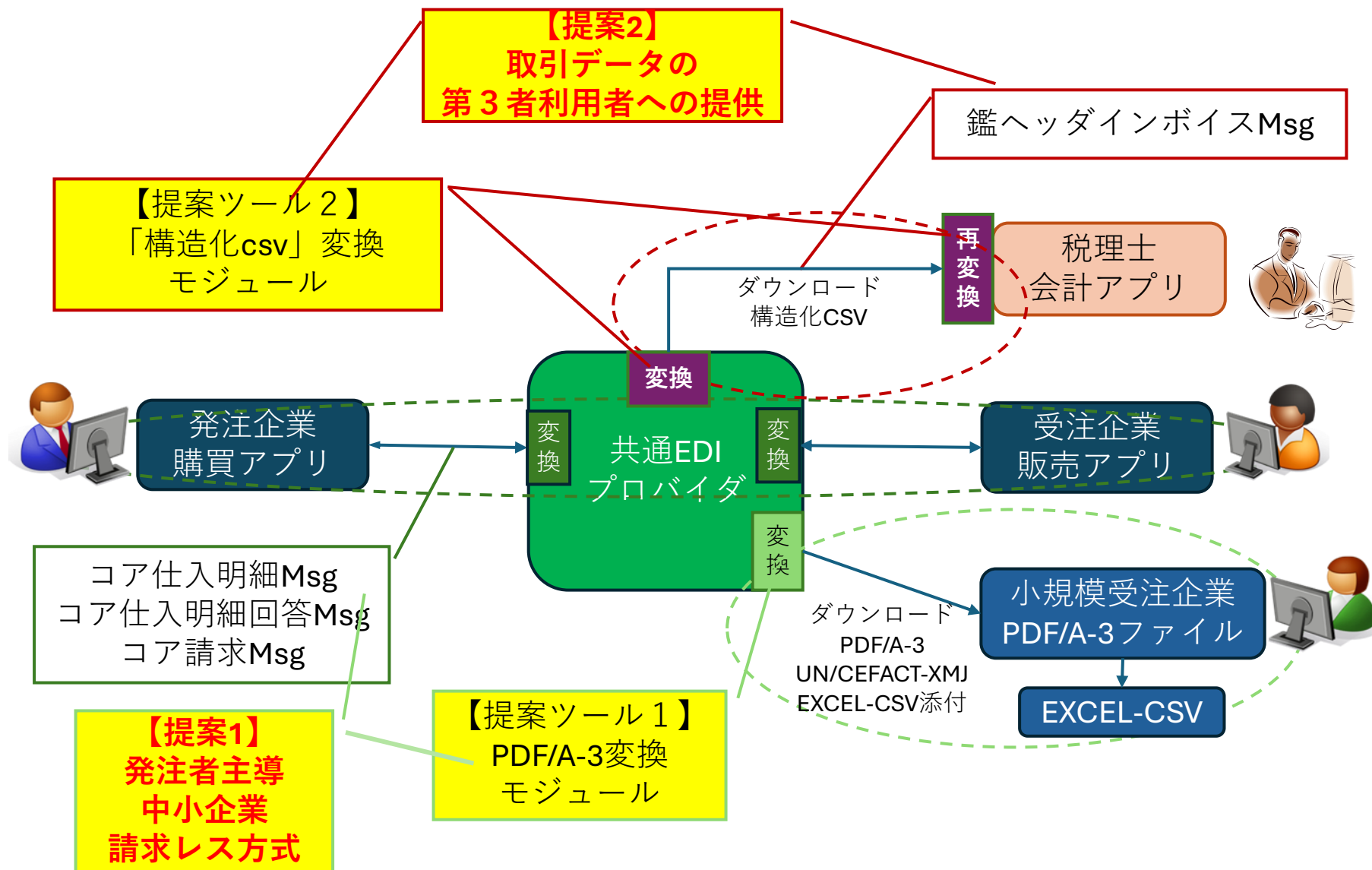


- 税理士／金融機関へのアプローチ
  - 有志税理士、XBRL Japanと普及策を検討中
- 業界団体へのアプローチ
  - 金属プレス工業会などの業界団体への展開

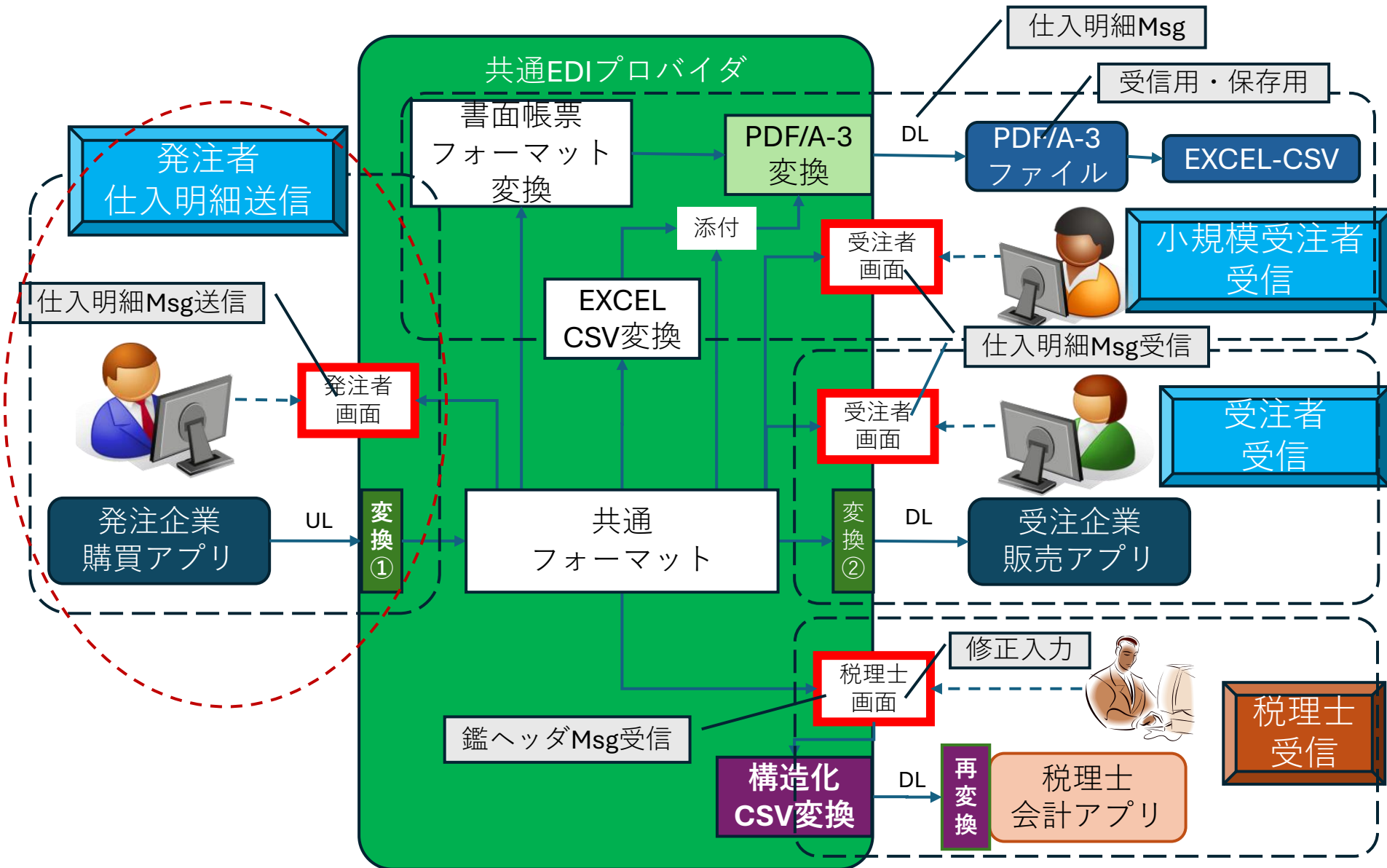
# 標準**ver.4.3\_r0** テスト環境の提供



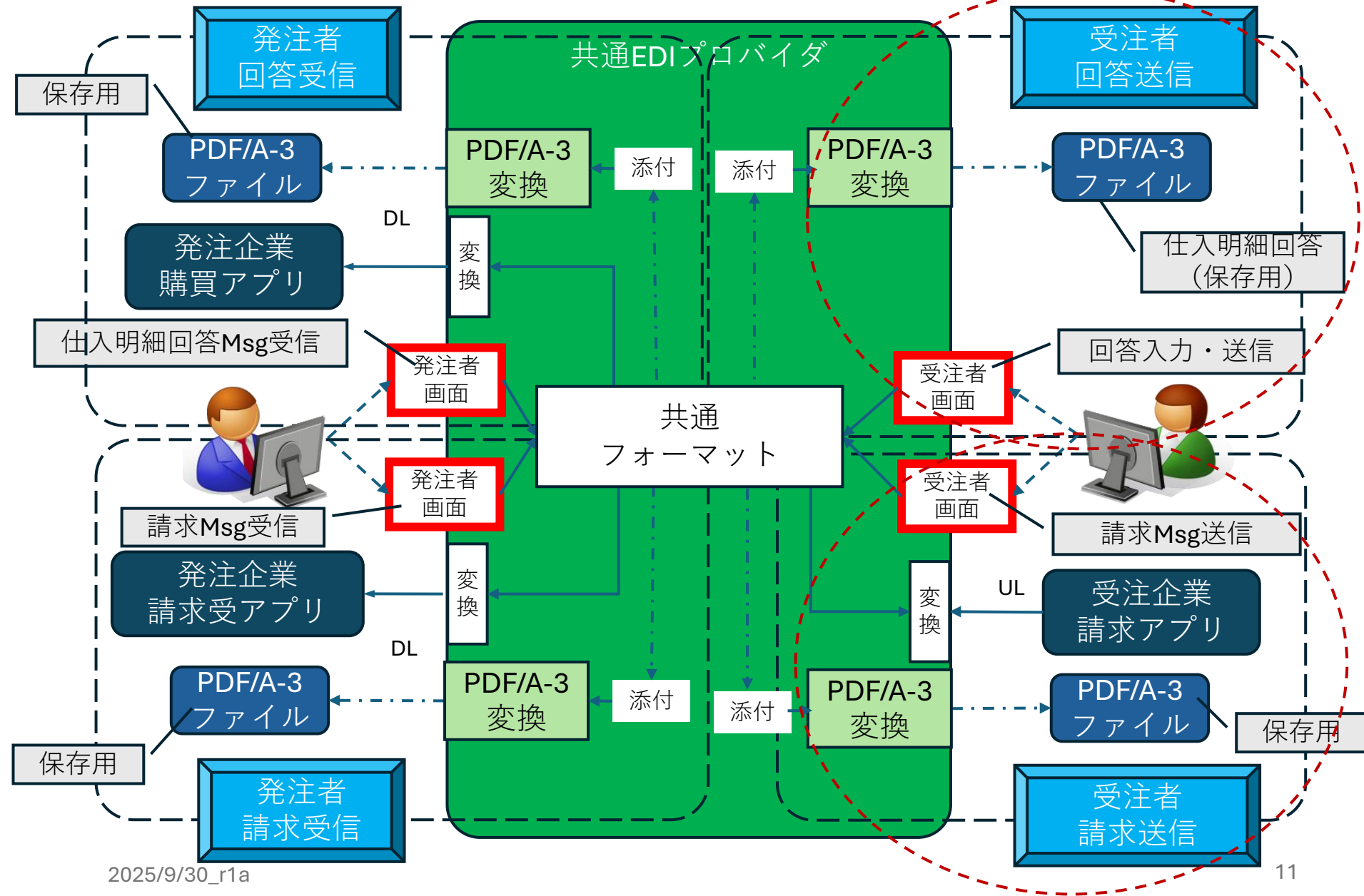
# 中小企業「請求レス方式」提案



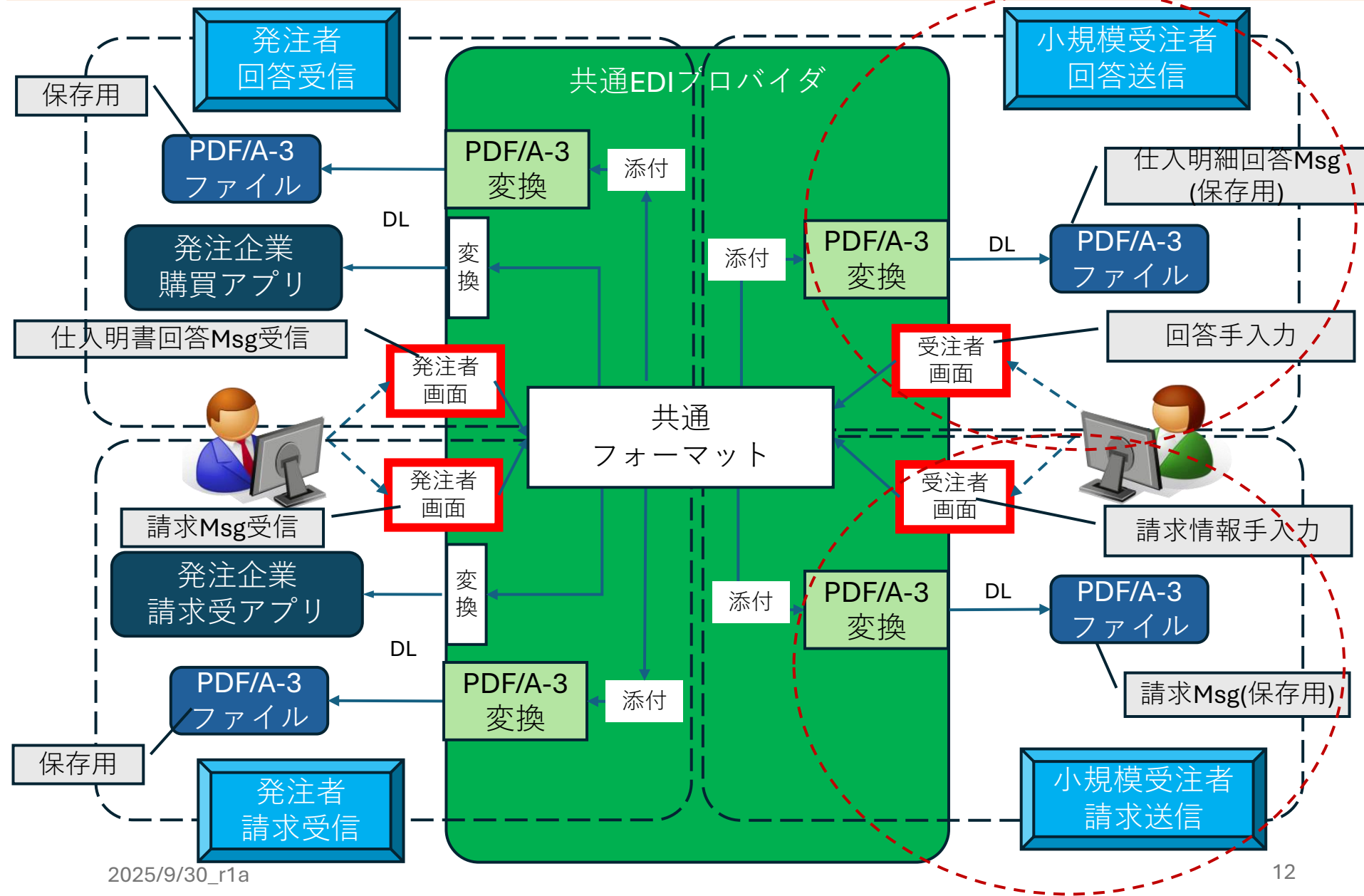
# 発注者の送信テスト環境（例）



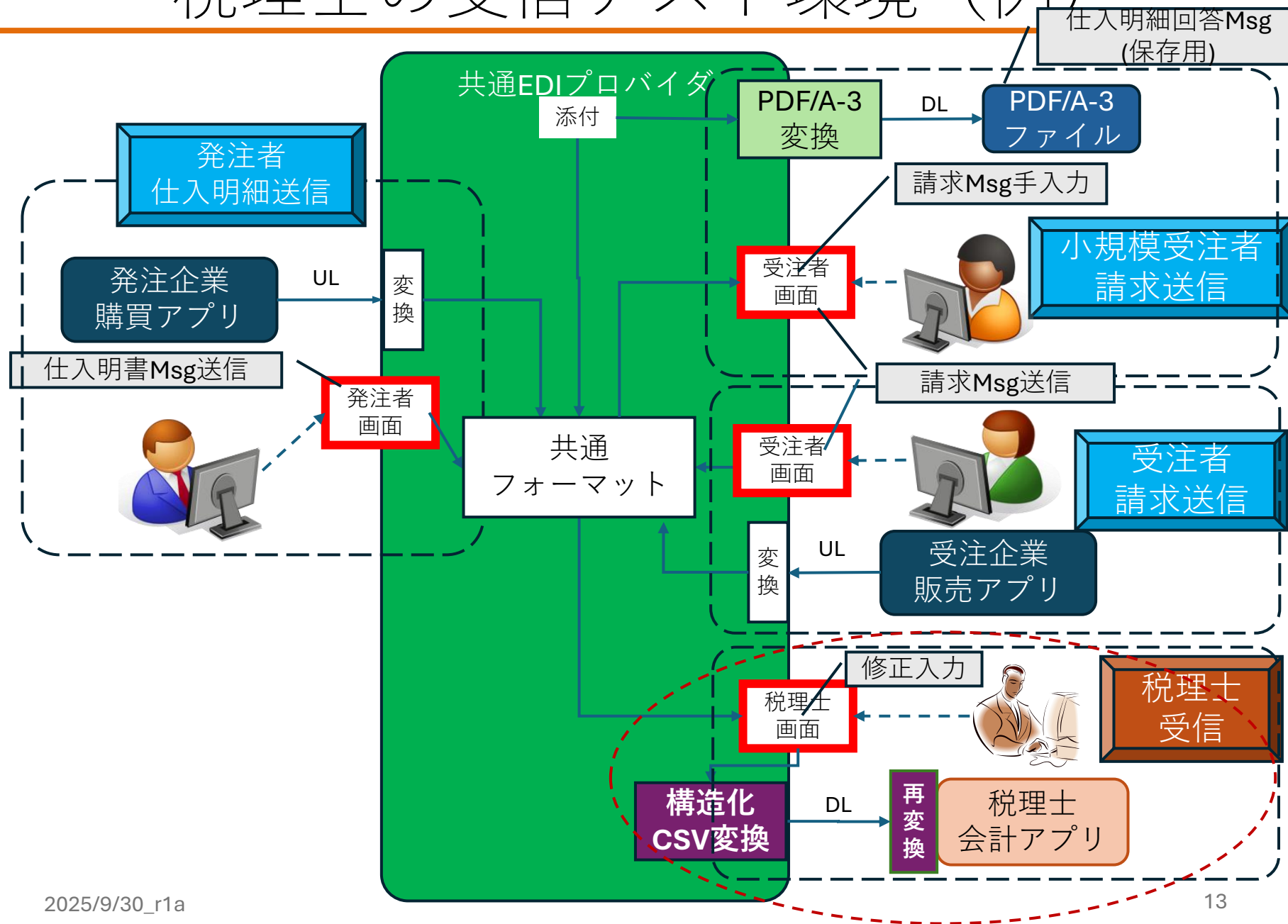
# 受注者の回答・請求テスト環境（例）



# 小規模受注者の回答・請求テスト環境（例）



# 税理士の受信テスト環境（例）

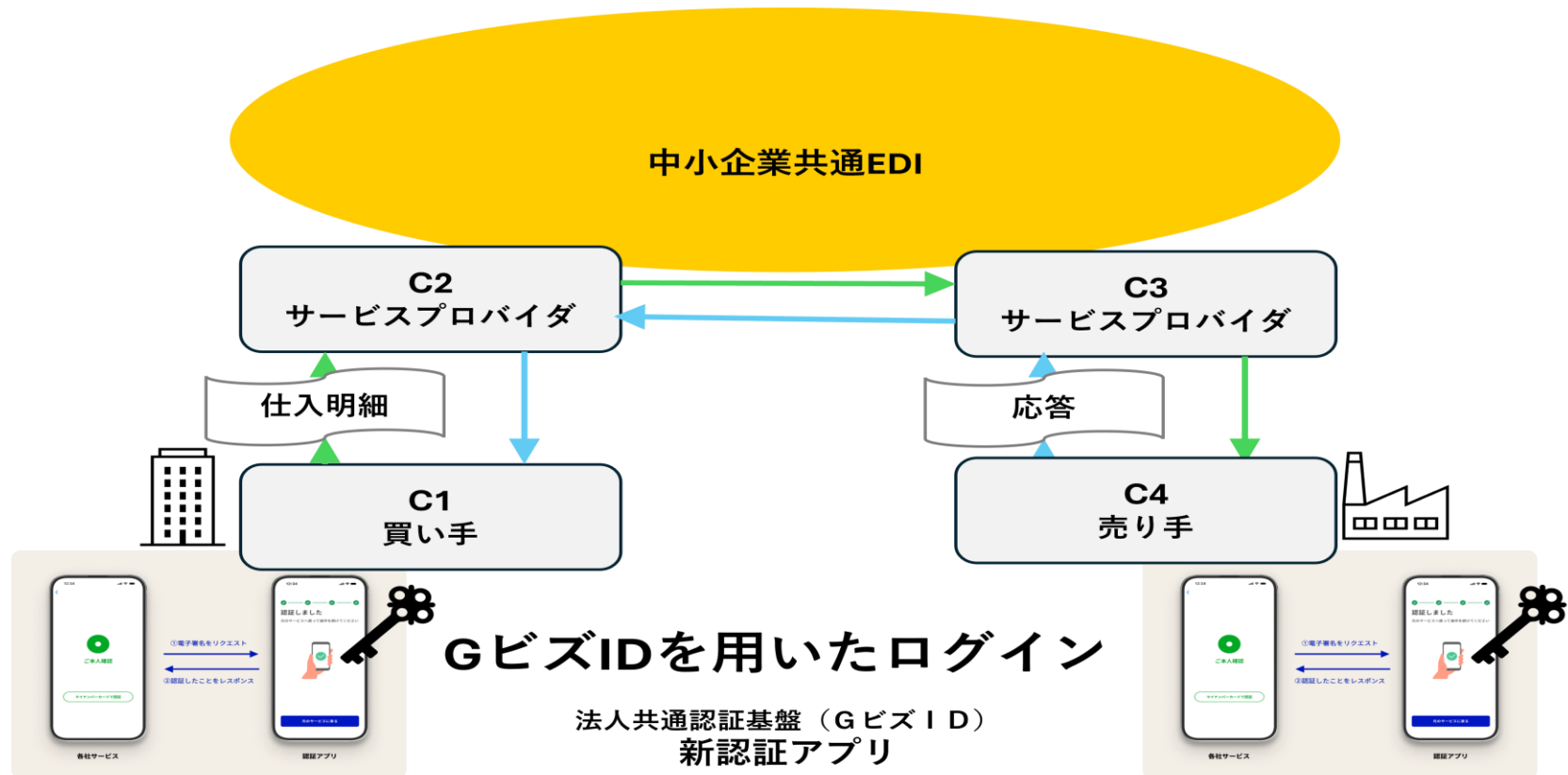


# デジタル庁 「GビズID」実証

# 「GビズID」の構成とEDI利用

- 「GビズID」は行政アプリへのログインID
- 「GビズID」の構成
  - 法人と個人事業者に発行される
    - 「GビズIDプライム」はマイナンバー上に構築されているのでKYCが保証されている
  - 「GビズIDプライム」の下位に「GビズIDメンバー」を発行できるので、組織としての利用が可能
- 「GビズIDプライム」のEDI利用
  - 「GビズIDプライム」はEDI用IDの要件を備えている
  - ただしIDが公開されないのでEDI利用ができない
- デジタル庁へ民間利用のための要望と提案
  - 「GビズIDプライム」のISO6523への登録とID公開
  - 送信データの真正性証明のための証明書発行機能の追加

# 「GビズID」 実証の申請内容



- 実証への参加募集
  - ITC協会とつなぐITコンソーシアムで共同提案
  - 2026年3月に報告書を提出



# 経済産業省 ウラノス**PJ**の事例公募

# ウラノスPJ事例公募

- ウラノスPJの目的

- ウラノス・エコシステムに興味を有する事業者間で、データに関するサービス「異なる事業者間で行われる、データの連携」に、参加者が使用される、データの多様性が担保される、データ連携に合致する取組を優良事例として取り上げ

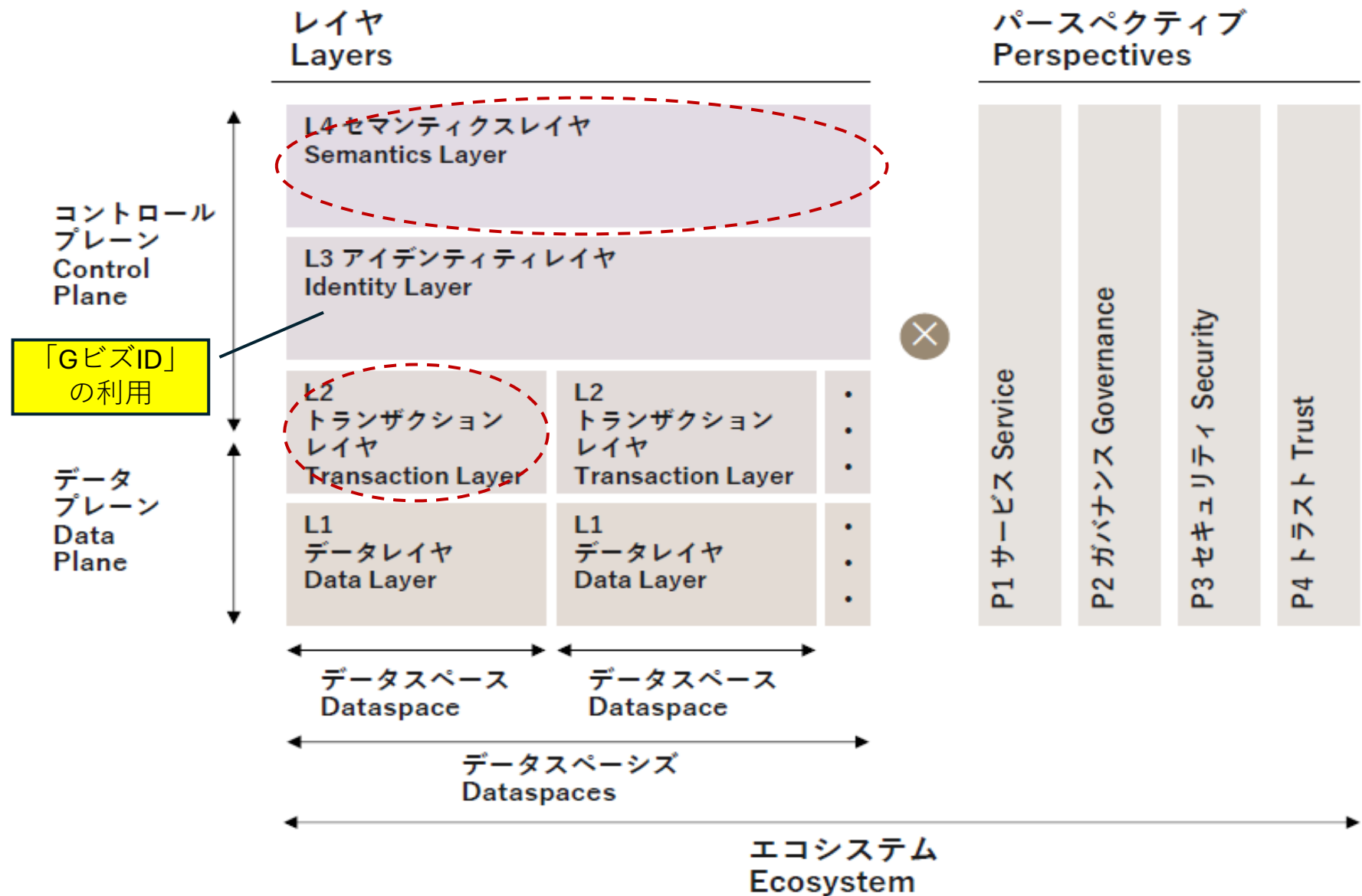
- 応募対象

- (ア) ウラノス・エコシステム先導プロジェクト (OLP)
- (イ) ウラノス・エコシステム挑戦プロジェクト (OCP)

- 選定プロジェクトに対する国の支援

- 「ウラノス・エコシステム先導プロジェクト」「ウラノス・エコシステム挑戦プロジェクト」ロゴの使用権付与
- ポータルサイト、イベント等による広報**
- 他プロジェクトや関連団体との交流機会の創出**
- 経済産業省、DADC等によるデータ連携に係るアーキテクチャ・規約設計に関する助言・相談機会の提供

# ウラノス・アーキテクチャモデルの構成



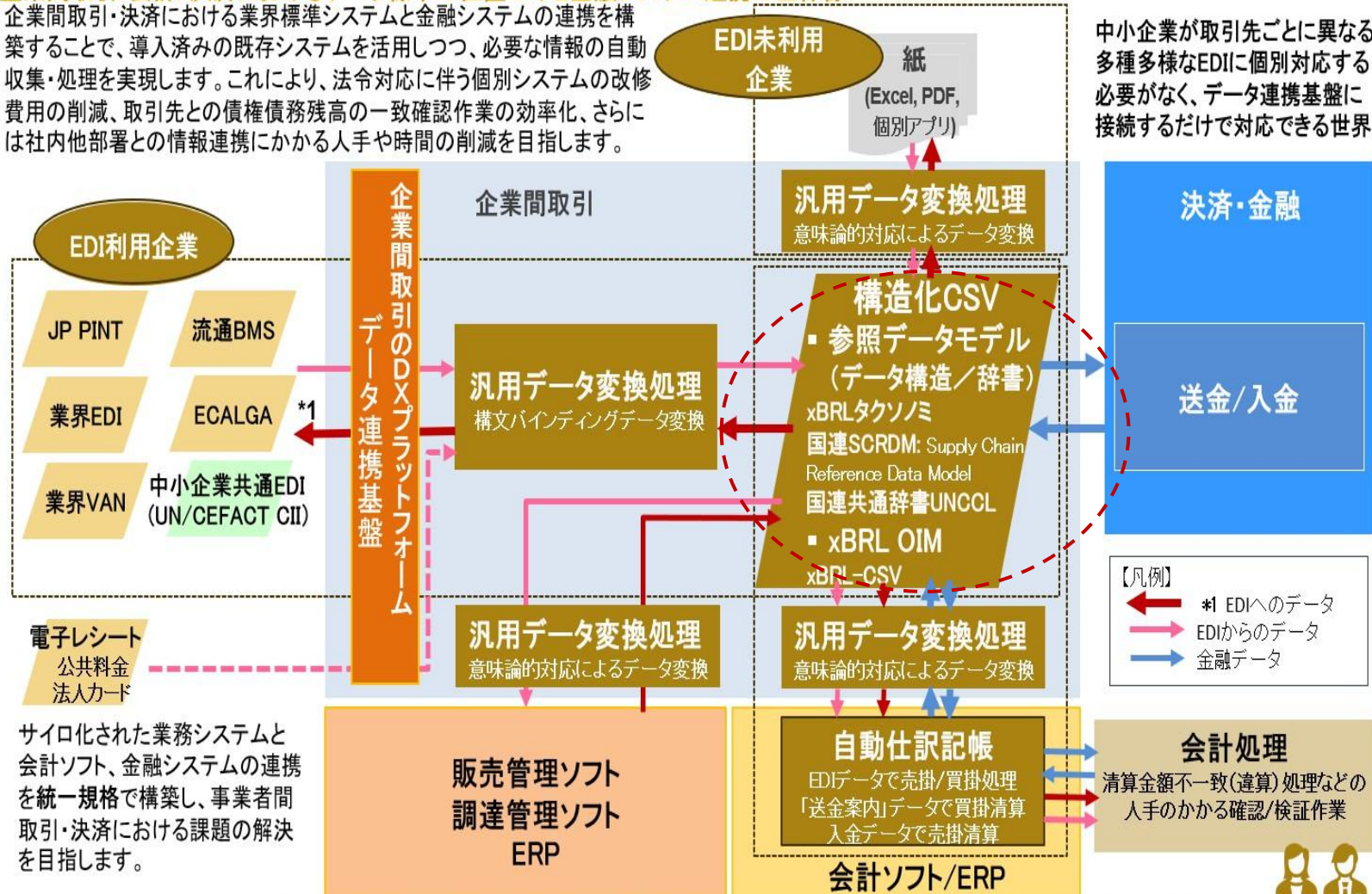
# 中小企業共通EDIの参照データモデルL4提案

## 企業間取引/会計/金融データ連携の全体像

### 企業間取引/会計/決済におけるデータ標準の位置づけと金融システム連携の全体像

企業間取引・決済における業界標準システムと金融システムの連携を構築することで、導入済みの既存システムを活用しつつ、必要な情報の自動収集・処理を実現します。これにより、法令対応に伴う個別システムの改修費用の削減、取引先との債権債務残高の一致確認作業の効率化、さらには社内他部署との情報連携にかかる人手や時間の削減を目指します。

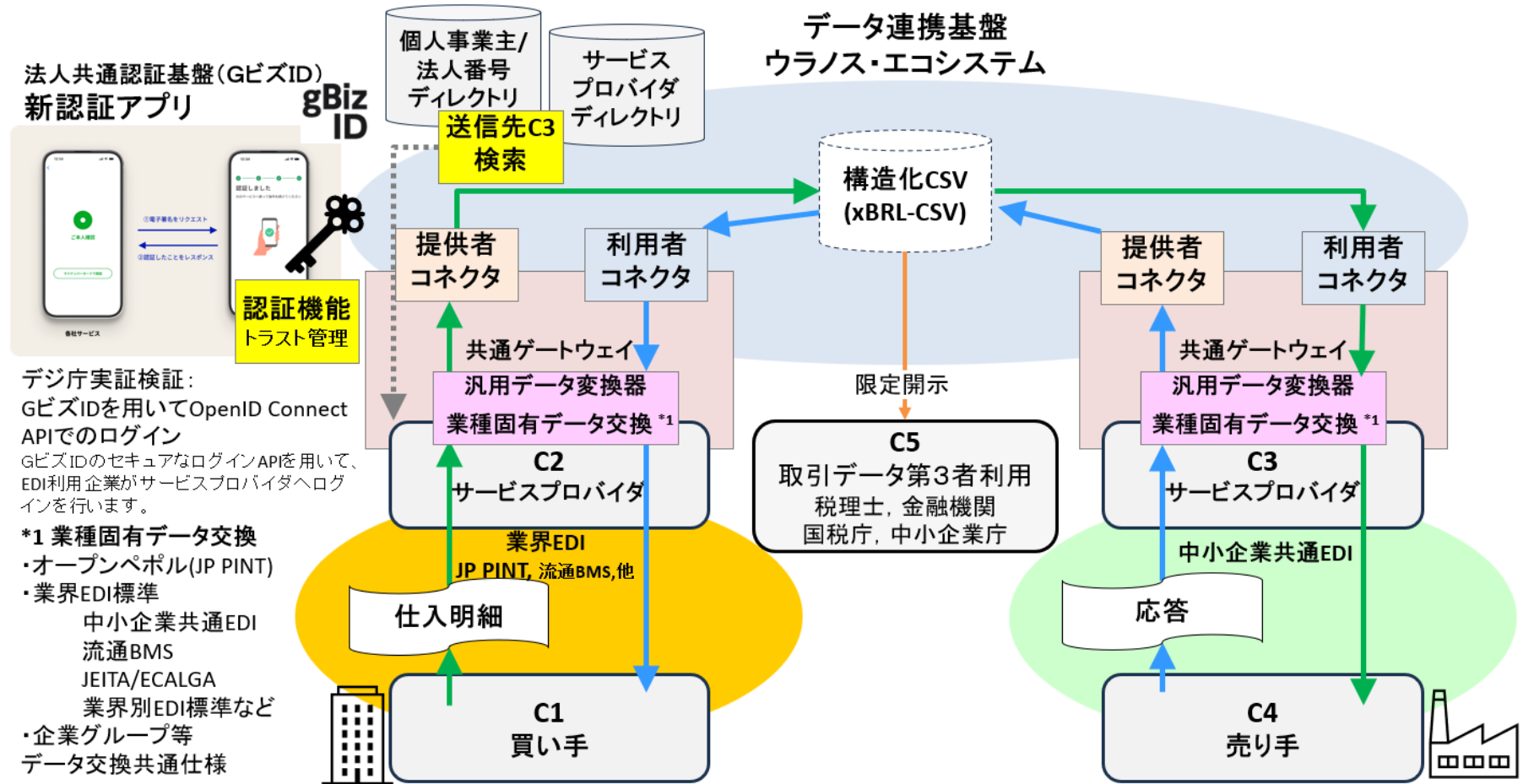
中小企業が取引先ごとに異なる多種多様なEDIに個別対応する必要がなく、データ連携基盤に接続するだけで対応できる世界。



© 2025 SAMBUICHI PROFESSIONAL ENGINEERS OFFICE and ITCA. Licensed under Creative Commons Attribution 4.0 International (CC BY 4.0).

# 中小企業共通EDIのウラノスL3レイヤ提案

## データ連携基盤ウラノス・エコシステム



© 2025 SAMBUICHI PROFESSIONAL ENGINEERS OFFICE. Licensed under Creative Commons Attribution 4.0 International (CC BY 4.0).

3

# ウラノスPJ検討WG 参加者募集

# ウラノスPJ検討WG発足の趣旨

- 目的

1. ウラノス・エコシステムのデータ連携基盤を活用して**発注者主導の中小企業「請求レス方式」**を大手・中堅企業・IT先進中小企業の発注者へ提案し、普及させる
2. **取引・会計・金融データのシームレス連携**を実現する仕組みをウラノス・エコシステムのデータ連携基盤の上に構築する
3. 2項を活用して税理士・金融機関等の**取引データ第3者利用者**へ共通フォーマット取引データを公的に認められた環境で提供するために、ウラノス・エコシステムのデータ連携基盤上に当該システムを構築する

- 成果目標

- ウラノス・エコシステム・データスペース・レファレンス・アーキテクチャモデル(ODS-RAM) AnnexBの事例登録を目指す
- ウラノス登録事例をベースに当該システムの実用サービス提供と普及を実現する

# ウラノスPJ検討WGの運用

## 1. 参加メンバー

- 参加資格に条件はなく、中小企業取引データ交換のデジタル化普及に関心をお持ちの方。
  - 取引当事者、ITベンダー、取引データの第3者利用者、中小企業支援団体・支援者、データ連携標準化有識者等
- 参加メンバーは個人の立場で参加する

## 2. 開催要領

- 会議形式：リモート会議
- 開催頻度：毎月1回 2時間程度

## 3. 費用等

- 参加費：なし
- 参加報酬：なし

⇒ボランティア活動であることをご理解いただき、ご参加ください



# ウラノスPJ検討WGの参加募集

- ウラノスPJ検討WG活動方針ダウンロードサイト
  - [ウラノスPJ検討WG活動方針\\_r2\\_20250818.pdf](#)
- 問合せ先
  - 特定非営利活動法人ITC協会共通EDI事務局
  - メール：[datarenkei@itc.or.jp](mailto:datarenkei@itc.or.jp)
  - 担当：鈴木、野田

R4への差替えを  
お願いします